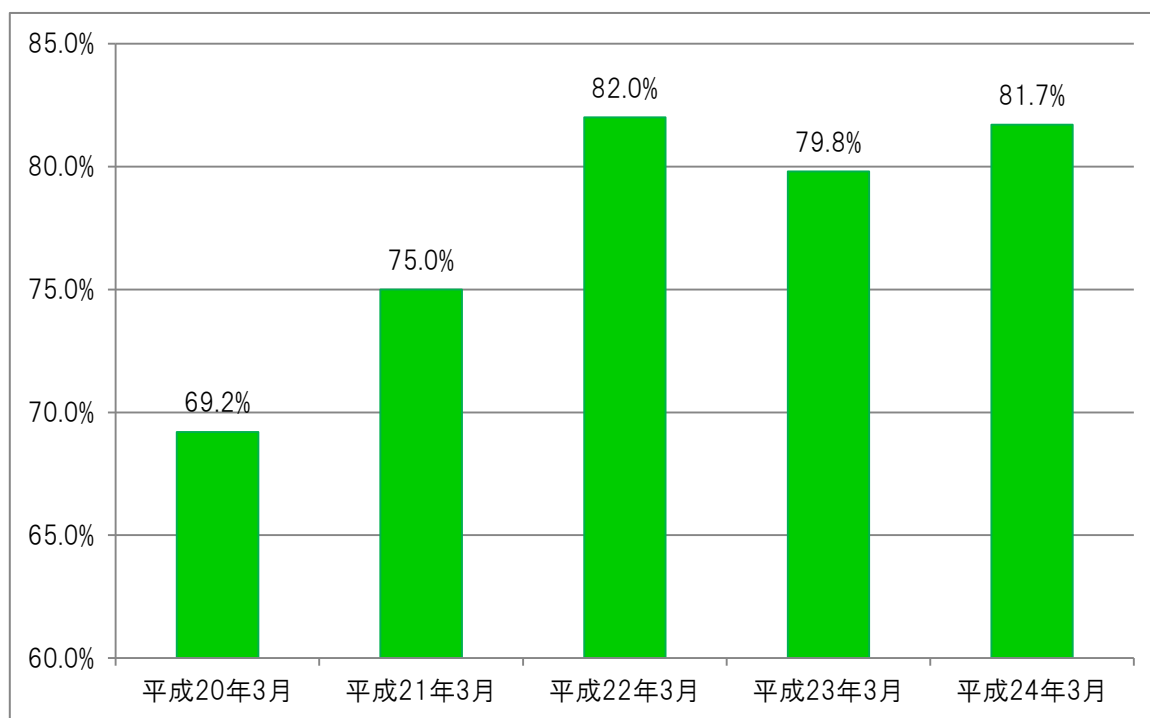


参考資料

ETC(Electronic Toll Collection System)は、料金所渋滞の緩和による快適性向上などを目的に、平成12年に千葉地区と沖縄地区で導入を開始いたしました。その後、その利便性から年々利用者が増加し、現在では一日平均305万7千台、利用率は81.7%に上ります。(平成24年3月現在)

ETC利用率の推移(NEXCO東日本調べ)



ETCの安全なご利用について

ETCレーンの正しい通過スピードは？

ETCレーンでは、誤進入やカード未挿入等により、前車の停止やETCバーが開かないことなど、不測の事態が発生する場合があります。お客さまの安全を確保するために、**時速20Km 以下に減速して進入し、ETCレーン内は徐行して通行してください。**

もし、ETCバーが開かなかったら？

ETCバーの手前で停止し、インターホンから料金所係員の指示にしたがってください。**みだりに車外に出たり、車をバックさせることは大変危険ですので、絶対におやめください。**

※詳しくは、ドラぷら「[ETCの安全な走行方法\(ETC安全5則\)と『もしも』の場合](#)」でご案内しています。

※二輪車の方は、ドラぷら「[ETC 二輪車の安全走行\(二輪車 ETC のお客さまへ\)](#)」をご覧ください。